

目指す児童像

思いやりのある
よく考える
明るく元気な
進んではたらく

海道小だより

第 9 号

令和2年1月発行
宇都宮市立海道小学校
校長 高島 俊幸

お天気が続く、年明け。インフルエンザもおさまりましたが、明るい日差しを浴びて、子供たちは今年も元気に活動しています。

海道小学校の年明けです。

よく考える子ども

◇ 冬休み明け朝会

1月8日の朝会では、昨年に引き続き「? (はてな)」のお話を、今年はことわざの「早起きは三文の得(徳)」を使ってお話ししました。どの子も「早起きは三文の得だよ」と言われて、実際にきもちのいい一日を過ごしたり、いいことがあったりした経験があると思います。逆に、「早起きは三文の得だから早く起きなさい」とお母さんに怒られたり、逆に「今の寒い季節あったかい布団にいた方がずっとお得だよ」なんて思ったりする子もいるでしょう。

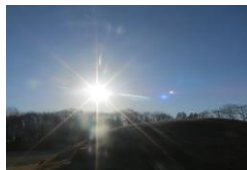
私は、こういうのを見るとつい「?」とか「調べるとおもしろそうだなあ」と思ってしまうのです。例えば、「昔の人は、早起きしてどんな得をしてこのことわざができたのかな」とか「三文は昔のお金だけど今のいくらぐらいかな」とか、考えてしまうのです。おうちの人や先生方には「そんなこと考えてないでさっさと起きなさい」と怒られそうですが・・・
というような話をして、昔から伝わる土佐藩の「三文の得」と奈良県の「三文の罰」のお話をしました。「早起きは、本当に三文の得」ですから、今年も規則正しい生活を送ってほしいと思いますが、毎日教わっている勉強の中や生活の中にもたくさんの「?」や「おもしろそうだなあ」と興味をもつことがたくさんひそんでいて、テストには出ないかもしれませんが、「?」や「おもしろそうだなあ」の気持ちを大切にぜひ調べたり追究したりしてほしいと子供たちにお願ひしました。

◇ 避難訓練(1月14日)

今回の訓練は、予告なしで業間に行いました。児童は緊急地震速報を聞き、校内では机の下にもぐる、校庭では中央付近でしゃがむなどの身を守る行動をとりました。

その後、給食室から火災が発生したとの放送を聞き、それぞれで適切な経路を自分で判断し、安全に避難しました。

校庭では、給食室の方向と煙の流れを確認し、先生がいない時であっても、放送をよく聞き、どこを通って避難すればいいか自分で考えることが大切だと、子供たちに話しました。



小中一貫教育 ～豊郷の学び～

◇ 6年生への乗り入れ授業（1月22日）

この日は、豊郷中学校の先生が来校し、本校の6年生に授業をしてくれる「乗り入れ授業」がありました。数学が専門の入江尚樹副校長先生が、数字の組み合わせからマス埋めていく楽しくかつ難しい数学クイズを出題してくれました。子供たちはグループで協力して考え、何回も入江先生に解き方を説明しに行っていました。中学校での勉強が楽しみです。



家庭・地域とともにある学校

◇ 生産者交流給食会（1月22日）

安全で新鮮、愛情たっぷりの作物を育て、本校に届けていただいている4人の生産者の方（若色様・石塚様・稲見様・小森様）を招き、3年生、6年生と給食と一緒に食べ、交流していただきました。当日の給食は、山口県の郷土料理である「けんちょう」や枝豆ゆかりご飯、海藻カミカミサラダ、さわらの朝鮮焼きなど、地域の食材をふんだんに使った献立でした。生産者の方から、作物にまつわる話を聞き、農産物への理解を深めるとともに、感謝の気持ちを高め、給食のありがたさを実感しました。



◇ 学校保健・食育委員会（1月23日）

本委員会の目的は、本校の健康・食育に関する取組について協議し、児童一人一人が、健康体力を増進するとともに、心身の健康に目を向けたり、食の大切さを理解したり、望ましい食習慣を身につけられるようにするためのものです。

P T A役員、体育委員、厚生委員の皆様にご参加いただきました。給食の試食や本校の児童の実態についての報告の後に、学校薬剤師の須藤美江子先生のお薬に関するご講話を聞き、研修を深めました。



お知らせ：体罰やいじめのない明るく風通しのよい学校を目指して～相談機会を設けます～

体罰は児童の身体や心を傷つける人権侵害行為であるとの考えのもと、市と学校が一体となり、体罰根絶の取組を進めています。不適切な指導やいじめの根絶、教職員の指導力向上のため、全小中学校において、保護者の皆様から直接話を聞く機会を設けることとしました。電話相談、面談ともに可です。本校の実施日は次の2日間です。窓口は校長、副校長です。

2月12日（水）9:00～12:00 / 2月14日（金）9:00～12:00 ☎661-6620